

# 津久戸

7月号

令和2年7月1日

新宿区立津久戸小学校

## 保健室より

## 養護教諭

長い休校から分散登校が始まり、一か月が過ぎました。子ども達が元気に登校した姿を見て安心し、元気をもらいました。学校に来て学習し、休み時間は友達と遊ぶ…という当たり前の日常がどれだけ幸せなものか思い知らされました。子ども達一人一人が感染症対策を意識して生活していました。とても素晴らしい姿が見られました。さすが津久戸小です！

分散登校では午前・午後の登校が入れ替わり、生活リズムが崩れてしまったお子さんも多かったと思われます。通常登校に戻ったので、今までの生活習慣を取り戻して行ってほしいです。

手洗い、ハンカチを持ち歩く、毎日検温して自分の体調をチェックすることが習慣化され、自分の体や生活に目を向ける良い機会でした。今後も引き続き継続してほしいです。

暑い季節になり、気温・湿度が高い中でのマスクの着用は熱中症のリスクが高くなります。熱中症も命に関わる危険があるため、換気・人との十分な距離を保つ・近距離で会話をしない等の配慮をした上でマスクを外すことも指導していきます。また、水分補給がしっかりできるように水筒は大きめのものをご用意ください。

いろいろな不安はつきませんが、みなさんで対策をして乗り越えていきたいですね。



## 私たちができることを一つずつ

### 副校長

学校が再開され一か月が過ぎ、分散登校から通常の登校へと段階がすすみました。改めて、医療従事者や私たちの生活を支えてくださっている多くの皆様に心より御礼申し上げます。

私たち教職員は、何を大事にし、何を優先するべきかを立ち止まって考え、学校の取組に対して共通理解を図ってきました。今後も教職員に限らず、多くの方々の意見・指摘からも学び、最適解を探ることを繰り返していくことで、本校での「新しい日常」が生まれ、定着していくのだと信じています。

令和2年4月30日(木)職員会議にて、牧田校長から私たち教職員に対し、「学校の役割とは何か、教師としてできることは何かを改めて考えてほしい」とのメッセージがありました。

「安全・安心」は本校教育活動の大前提です。学校再開が決まり、教室への入室までの動線、手洗いうがい、マスク着用・着脱の仕方と管理方法、給食の準備・服装、トイレや水道の使い方、水分補給等、一つ一つ対話を重ね、私たちができることを検討しました。今はそれを毎日、実践することに努めております。これまでのようにできること、もはや従来どおりには行うことは難しく、変えていくことも少しずつ明らかになってきました。今後も定期的に学校での生活様式を見直し、安全・安心な居場所であり続けられるよう学校の役割を担ってまいります。

それらに加えて、学校の本質的な役割である学習等の保障を具体的に考えていかなければなりません。学校で行う授業と家庭学習を組み合わせた学習活動の重点化を図ることが、その第一歩となります。様々な学習支援サイトや、PTAの協力を得た動画に加え、新宿区教育委員会が整備してくれた「おすすめ教室ラインズeライブラリ」「palstep」を活用し、子ども達が主体的に学びをすすめられるよう、多様な学び方が身に付けられる機会をつくることに努めます。

今年度、本校では学校の教育目標を「知性と教養にあふれたくましく前向きに生きる津久戸の子」としました。全ての教育活動を通じて、その実現を図ることをねらいや目的とし、全力を尽くします。これまで以上に地域・保護者・学校が一体となって、ともに津久戸の子ども達のためにできることに取り組んでいければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

## 算数少人数指導について

今年度も算数少人数指導は3年生、4年生、5年生、6年生で実施しています。算数科における学ぶ力を伸ばすために、算数少人数担当と学級担任が力を合わせて取り組んでいきます。

授業では、学年を3つのグループに分け、3人の教員がそれぞれのグループの指導に当たっています。少人数のよさは、思考の多様性や習熟度に応じたきめ細やかな指導ができることです。

算数少人数をとおして、

○算数の楽しさやよさを感じ、生活や学習に生かすことができる子

○多面的に考え、筋道立てて表現できる子

○学習したことを生かせる子

を育てていきたいと思います。基礎的・基本的な知識及び技能の習得はもちろんですが、「算数は楽しい」と思えるような授業や環境の工夫に努めていきます。

## 【学年の窓から・・・2年生】

### 1組担任

みんなで毎日学習ができることを嬉しく思っています。2年生でも世の中の現状を自分たちなりに理解し、ルールを守って学校生活を送っていることは、大変立派だと感じています。

国語で『いっどこゲーム』をしたところ、子ども達から「今日は、いっどこゲームをやりますか!？」と聞かれる日々です。なかなか毎日ではできないのですが、ちょっとした時間ができたときにはみんなで楽しんでいます。一人一人が考えた言葉を組み合わせて、思いがけない文章ができる・・・ついつい笑ってしまいます。いっどこゲームは、5W1Hを意識できるので、これから作文指導に力を入れていく2年生にとって、遊びながら作文の基礎を学ぶことができているのではないかと思います。とてもとてもパワフルな2年生みんなで過ごす学校生活がこれからも楽しみです。

### 2組担任

学校が再開してから早いもので、約一か月が過ぎました。新しい青い帽子をかぶって登校できることに心を躍らせている2年生。分散登校が続き、学校での過ごし方も様々な制約があるなかで、友達と一緒に過ごすことができる日常への活力を感じます。

現在、生活科の学習で野菜を育てています。それぞれの野菜に毎日水をあげ、成長の記録を観察しています。教室に向かう前に野菜の様子を見てきたり、友達と野菜の成長を伝え合ったり毎日の変化に興味津々です。「今日は収穫できるかな」「晴れて太陽がたくさん当たるといいな」など、朝の教室は野菜の話題で持ちきりです。

このような状況ではありますが、自ら様々なことを体験して知識を増やし、津久戸っ子らしくたくましく成長して欲しいと願っています。

### 7月の生活目標

『身の回りのものを大切に使おう』

- ・教室や廊下をきれいにしよう。
- ・みんなのものを大切に使おう。
- ・後かたづけをきちんとしよう。
- ・学期のまとめをしよう。

学校が再開してから早一か月が過ぎました。新しい教室にも慣れ、にこやかに生活している様子が見えがえします。

夏は、水筒やタオルなど持ち物が多く、落とし物も多く見かけます。今月は、自分の物にきちんと名前を付けて大切に使うことを指導します。自分の持ち物には、しっかりと記名をさせるとともに、物を大切にしようとする心を育んでいきたいと思えます。

(生活指導部)

